

6 郡市活動報告

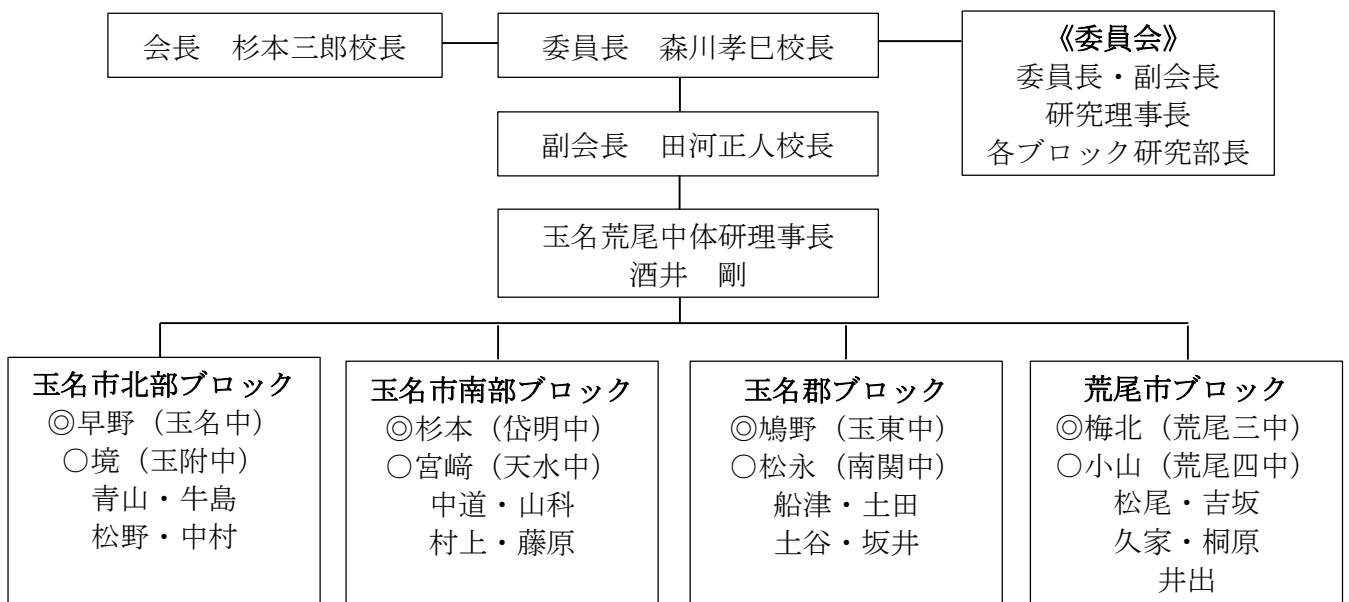
玉名荒尾中体研

理事長 酒井 剛

1 はじめに

玉名荒尾中体研は、杉本三郎会長（玉名中学校）、森川孝巳委員長（岱明中学校）を中心に玉名郡市13校、荒尾3校の体育担当で構成されている。今年度、来年度に開催される国際大会や、新学習指導要領移行への対応等について、その成果と課題の共有などを行った。この取り組みを土台とし、来年度以降の実践・研究へとつなげていきたい。

2 研究組織



3 活動状況

会議等	期日	内容
1 教育会教科等全体会	4月24日（水）	昨年度の実践報告・研究テーマ・組織・方向性検討、授業者決定
2 第1回教科等研修会（実技研）	8月20日（火）	実技体験「車いすバスケットボール」
3 第47回熊本県中学校保健体育研究発表大会	11月22日（金）	阿蘇市 会場：一の宮中学校 他
4 第2回教科等研修会（授業研）	12月3日（火）	会場：玉東中学校
5 第2回評議員会	2月12日（水）	年間活動報告・反省 来年度への志向

研究テーマ

積極的に運動に親しみ、活力のある児童生徒を育成する保健体育学習のあり方
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業づくりを通して～

内容1
学習指導要領
移行への取組

内容2
体力向上への
教材・教具開発

内容3
小・中連携
取組の継続

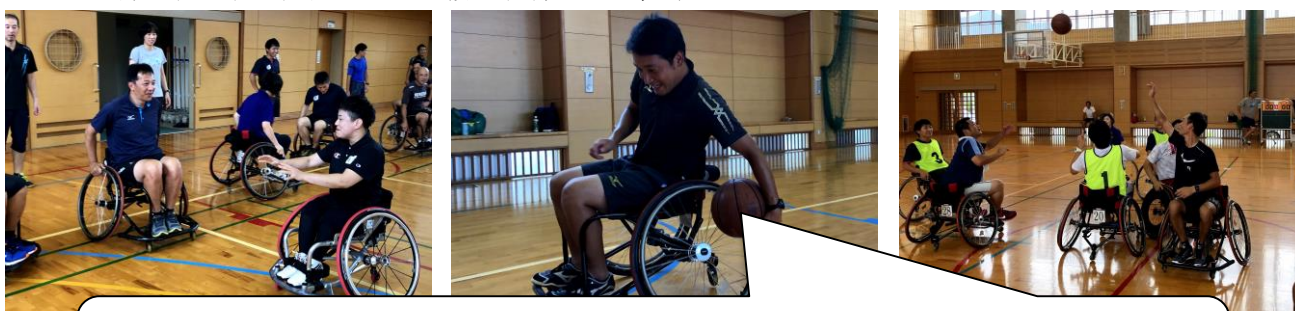
内容4
実技研修会の
実施

内容5
授業研究会の
実施

5 研究の概要

(1) 実技研修会の実施

講師：山本行文氏（熊本機能病院）



車いすの基本的な操作法を学び、車いすバスケットボールを体験することにより、障がい者スポーツへの関心を更に高めることができた。

(2) 授業研究会

授業者

鳩野文也教諭（玉東中学校）



班での話し合い活動



ICTを活用した提示

落ち着いた雰囲気の中で、生徒がめあてを解決する見通しを持つことができていた。エスコートキッズ等、国際大会を見る際に視点が增えるような授業であった。生徒たちは主体的に話し合いに取り組み、仲間と協力しながら学習に取り組んでいた。研究会では班別協議を設定したことで、来年度に開催される国際大会へ向けてどのような視点からアプローチするか、多くの意見が出た。

6 まとめ（成果と課題）

女子ハンドボール世界大会や、東京オリンピック・パラリンピックへ向けて、実技研、授業研ともに有意義な研修ができた。これらをもとに、各校で生徒への働きかけをしていきたい。来年度はさらにオリンピック・パラリンピックへ向けた取り組みの強化と、新学習指導要領移行を見据えた研究のテーマ等を設定し実践を行っていきたい。